

「台風を要因とする 特別警報」の解説

写真：令和6年台風第10号
衛星赤外画像

福岡管区気象台
気象防災部 予報課

本日の内容

1. 特別警報とは？
2. 台風を要因とする特別警報と、
大雨を要因とする特別警報の違い
3. 台風を要因とする特別警報について
 - ・発表地域について
 - ・発表タイミングについて
4. まとめ

1. 特別警報とは - 概要 -



「特別警報」は重大な災害の起こる恐れが著しく高まる場合に発表

気象台から危険度を伝える上での 最終手段

- ・**警報**に比べ、はるかに危険度が高い
- ・**特別警報**が発表されないからといって安心は禁物

2. 特別警報の要因

－ 台風接近時に発表の可能性があるもの －

台風接近時に発表の可能性がある特別警報



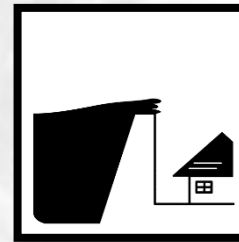
大雨特別警報



暴風特別警報



波浪特別警報



高潮特別警報

いずれも「**現象名** + 特別警報」という点では同じだが・・・？

2. 特別警報の要因

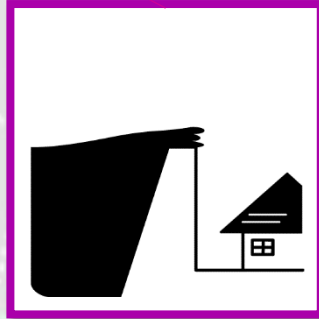
- 台風接近時に発表の可能性があるもの -



暴風特別警報



波浪特別警報



高潮特別警報

台風を要因とする特別警報

高潮警報・高潮特別警報は警戒レベル 4 相当

**数十年に一度の勢力の台風が
これからやってくる**

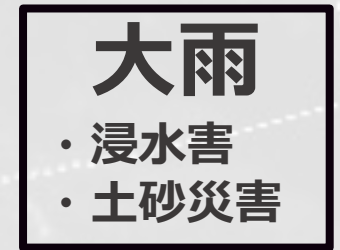
中心気圧 **930 hPa** 以下
または
最大風速 **50 m/s** 以上

※奄美・沖縄・小笠原は
それぞれ910hPa, 60m/s

「台風特別警報」
という名前の特別警報
はありません



大雨特別警報



大雨を要因とする特別警報

警戒レベル 5 相当

**すでに経験のない大雨
その後も続く見込み**

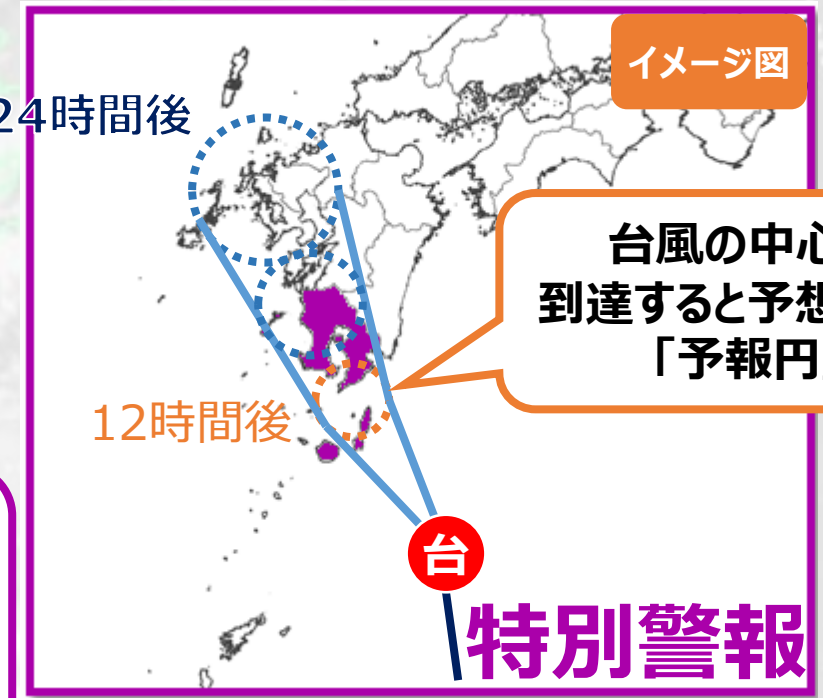
警報基準をはるかに上回る大雨
(基準は地域による)

要因
現象
指標

3. 台風を要因とする特別警報 - 発表地域 -



「数十年に一度の勢力」
中心気圧930hPa以下
または
最大風速50m/s以上



警報

台風の位置に関わらず…
警報基準を超えると予想される地域全域

どこに？

台風を要因とする特別警報

特別警報指標を満たす台風 の予報円に入る県
&
警報基準を超えると予想される地域全域

3. 台風を要因とする特別警報 - 発表タイミング -

○**暴風・波浪・高潮特別警報**（時間は目安）

早期
注意情報

注意報

警報を発表

特別警報

※注意報から特別警報に切り替わる場合もあります

約24時間前

約12時間前

台風の「**中心**」が
接近・通過する

特別警報を「予告」



記者会見

気象情報

特別警報を「発表」



記者会見

気象情報

4. まとめ

気象庁 特別警報

検索



1. 特別警報とは？

気象台から危険を知らせる最終手段！

2. 台風を要因とする特別警報 と 大雨特別警報 の違い

台風要因（暴風、波浪、高潮）は“これから さらに” 危険！

大雨は“すでに” 危険！

3. 台風を要因とする特別警報の発表タイミング

“数十年に一度の規模の台風”の“**予報円に入る県**” の **警報基準を超える地域** に
現象がピークを迎える 約12時間前 に発表